



有限会社佳工業 知的資産経営報告書2023

2024年1月19日

目次

1. 会社概要および経営理念	P 2
2. 経営者ご挨拶（会長）	P 6
3. 経営者ご挨拶（社長：後継者）	P 7
4. 当社の実績（～私たちのWORKS～）	P 8
5. 業務の流れ	P 11
6. 当社の強み～知的資産～	P 13
7. 沿革	P 14
8. 現在価値ストーリー	P 19
9. これからの取組（～目指す方向性～）	P 21
10. 将来価値ストーリー	P 22
11. 組織と人	P 23

1.会社概要

有限会社 佳工業 yoshikougyou

本 社：福岡県大川市大字小保968

佐賀工場：佐賀県佐賀市諸富町徳富146-3

代表者：梶田 孝信（代表取締役会長）、梶田 岳（代表取締役社長）

業種：家具製造業(別注家具、装備品製造)、建築業(現場施工)

一般建設業許可番号：福岡県知事 許可（般-1）第99573号

創 業：平成3年（1991年）4月1日

会社設立：平成15年（2003年）5月1日

資本金：300万円



1.会社概要

有限会社 佳工業 yoshikougyou

営業内容：別注家具・完全オーダーメイド木製建具、各設計施工
(新築、マンション、リフォーム、ホテル、病院等)

売上状況：第19期：令和3年度 (2021年)

売上高 241,539千円

第20期：令和4年度 (2022年)

売上高 262,667千円



1.会社概要

【経営理念】

●ミッション（使命感）

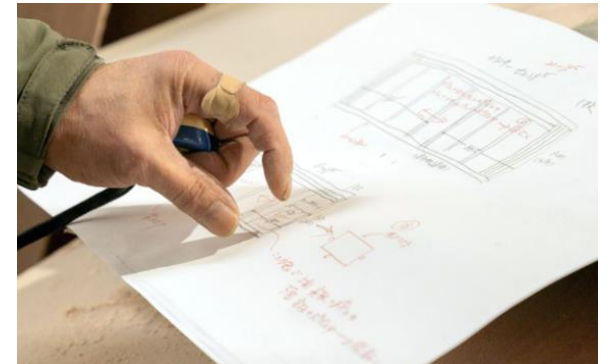
お客様の思い描いた空間の実現を、家具を通してお手伝いし、夢の実現に貢献します。

●ビジョン（未来像）

弊社の家具が、お客様にとって、思いをくみ取った施工が出来る、選ばれ続けるサポート企業になります。それを実現するために、社員一人一人が専門技術を高め、切磋琢磨出来る環境を整備し、従業員の待遇を向上させ、魅力的な企業になります。

●バリュー（根本の考え方）

- ・まだ無い家具を世間に送り届けます。
- ・木製品の可能性を追求します。
- ・難題に立ち向かう胆力、チーム力を持ちます。
- ・働く一人一人が誇りと喜びを感じる仕事をします。
- ・家具の産地である、地元“大川”に貢献します。



1.会社概要

【SDG'sの取り組み】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

5 ジェンダー平等を
実現しよう



“男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう”

佳工業は、性別によって待遇や賃金の格差がないことは当然として、男性女性問わず公平に評価され活躍できる環境づくりを進めています。

12 つくる責任
つかう責任



“生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう”

佳工業は、発生する端材などの廃棄物を無駄なく活用できる、佐賀市の木質バイオマス利活用事業に協力しています。

8 働きがいも
経済成長も



“みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう”

佳工業は、従業員の教育を重視し、技術力・生産性の向上とともに、だれもが自分にとってやりがいのある仕事ができる会社を目指します。

15 陸の豊かさも
守ろう



“陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切にしよう”

佳工業は、木材資源を使う家具メーカーとして、材料ロスの低減やより環境負荷の低い素材の使用など、環境に配慮したものづくりを行っています。

2. 経営者ご挨拶（会長）

代表取締役会長

梶田 孝信（かじた たかのぶ）

わたしたち佳工業は、平成3年の創業から30年以上、設計から製作まで一貫した体制で理想の家具づくりを追求してきました。

佳工業が専門とする「別注家具」の製作とは、お客様の思いに寄り添い、お客様の思い描いた空間の実現をお手伝いするものづくりだと考えています。

お客様や現場は多岐にわたりますが、個人住宅であっても大規模施設であっても、一つとして同じものがないお客様の思いに寄り添った最適な家具をつくるという、わたしたちの思いは変わることはありません。

これからも思いのこもった家具を提供し続けるために、社員一人一人が専門技術を高め、一丸となって日々切磋琢磨していきます。



3. 経営者ご挨拶（社長：後継者）

代表取締役社長

梶田 岳（かじた たかし）

はじめまして。梶田岳と申します。創業より32年、会社設立の20期の節目に、父である先代と社長交代させて頂きました。

創業当時は大川市に工場が有り、ちょうど小学校と自宅の中間地点でした。まだ小学生だった私は、放課後に工場へ寄り、仕事が終わるのを事務所内で待ち、共に帰るという生活をしておりました。学校帰りに遊ぶのも、工場の近くに住んでいる友人とばかりでした。そういう意味では、佳工業は私の生活の一部であったと思います。

当時、佳工業が存在していることは自然なことのように感じておりましたが、今日まで会社を維持、発展させたことに先代と母の大変な苦勞が有ったことを、物心がついた後に知りました。また、私が入社した後も、毎年のように佳工業が変化していく姿を見てきました。

その中で、中小企業では人とのつながりが大変重要であり、今後もこれまで以上に、お取引先とのつながりを大切にしていきたいと考えております。そして、私の代となっても変わらずご愛顧を賜れますよう、一層尽力してまいります。



4. 当社の実績 ~私たちのWORKS~



4.当社の実績 ~私たちのWORKS~ 保育園、納骨堂等



2023.09.15

北九州市 保育園

教室が真四角ではなく、少し角度の付いたお洒落でユニークな保育園でした。その角度に合わせての家具の設置でしたので大変でしたが、やりがいもあり、楽しく作業をさせていただきました。



2023.03.25

公営住宅エントランス

杉の無垢材でベンチを作らせていただきました。重厚感があり落ち着いた感じの仕上がりになっています。制作時には各部材の加工が相当大変みたいでしたが職人さんが丁寧に仕上げてくださいました。



2023.02.22

寺院納骨堂

こだわりの強い設計で、和と洋の組み合わせのバランスに苦心しながらも完成した際は達成感でいっぱいでした。電気や設備の業者さんとの打合せや設計士さんのこだわりを盛り込む過程でまた一つ、会社の技術力がレベルアップ出来ました。



2023.02.21

分譲マンションモデルルーム

デザイナーさんのイメージを形にすることで、ギャラリーでは明るく高級感を、モデル内では素敵な生活空間の雰囲気を出すことが出来たと思います。本棚と間仕切りのルーバーが施工方法で何度も打合せを重ねて大変だったのは内緒です（笑）

4.当社の実績

～私たちのWORKS～ クリニック、図書館等



2023.02.14

集合住宅

写真は壁一面のテレビ台ですが、機器を入れる中央部の扉2枚を、リモコンの信号を通すためとレコーダー等の機器の熱を逃がすために格子状にしました。



2023.02.14

耳鼻咽喉科クリニック

かなりのこだわりをお持ちの設計士の方で、リノリウム（亜麻仁油由来の天然素材）を初めて家具に使用させて頂きました。出来上がった空間は、まるでラボのような雰囲気でした。当社の家具がそんな空間を形作る一部となれたことに幸せを感じた現場でした。



2023.02.14

整骨院&ヨガスタジオ

この時の設計士の方は、明るい色使いやデザインをされる方で照明の取り入れ方が素敵で非常に勉強になりました。受付カウンターに使用した人造大理石のエンボスとの調和も綺麗に仕上がりました。

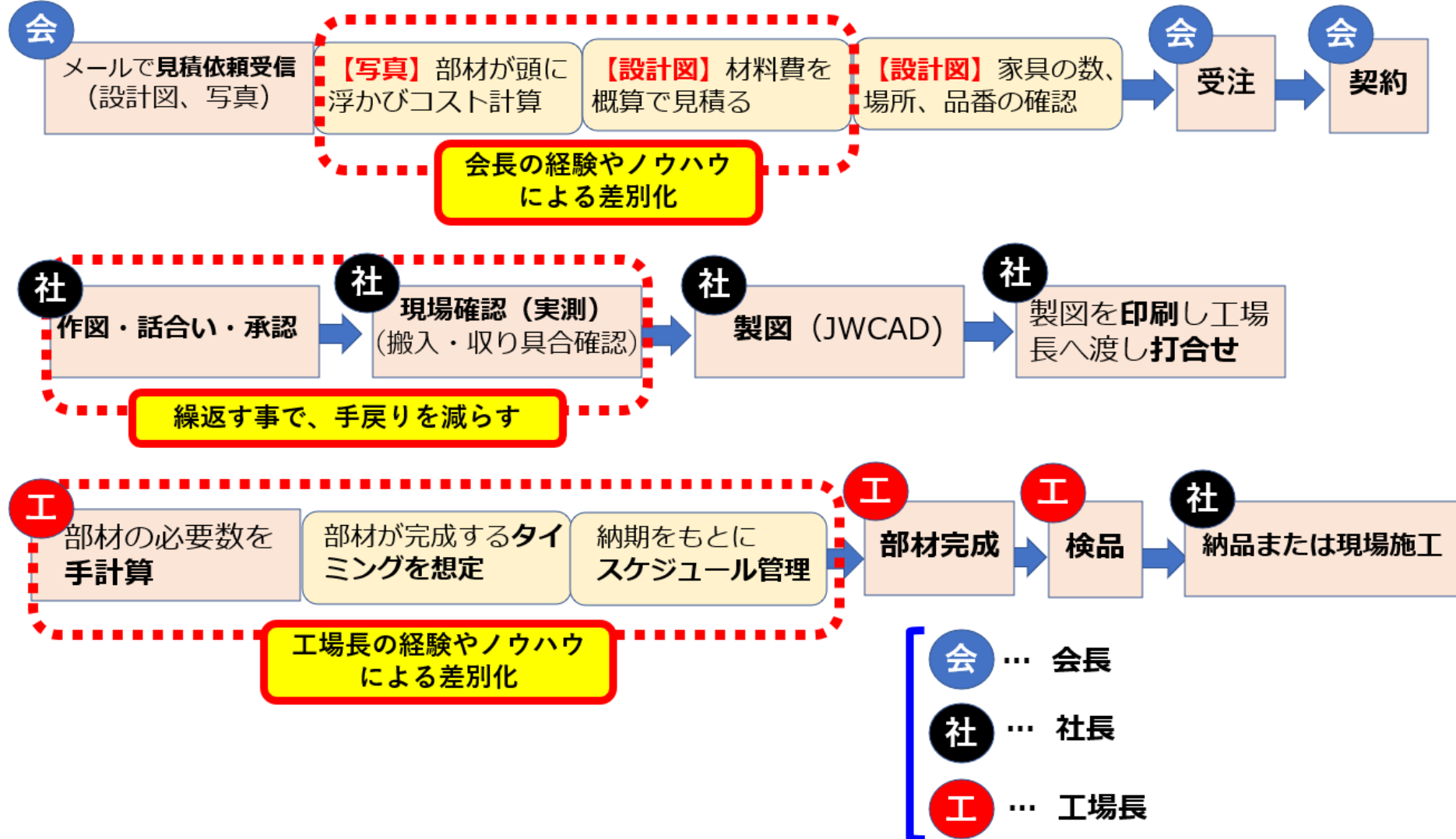


2023.02.14

図書館

かなり大きいサイズであったこと、他の組合の会社さんと仕上がりを合わせる為、組合の先輩より製作方法をご教授頂きながら、製作させて頂きました。お仕事を頂きながら、ノウハウも学ばせて頂いた現場でした。

5. 業務の流れ ~事務所~



5.業務の流れ ～工場での工程～

①



芯材加工

まず芯材をパネルソーでサイズに合わせてカットし、骨組みを組み立てていきます。

②



カット仕上げ①

サイザーで板材の断面を綺麗に切り揃え、寸法の精度、並行・直角の精度を高めます。

③



縁貼り加工

化粧板の断面については、縁貼り機を使用して木口テープなどでの縁貼り加工も行います。

④



NCルーター

組み立てのためのダボ穴などの穴開け加工だけでなく、溝を掘ったり、一部を繰り抜いたりするなどの加工も可能です。

⑤



芯組み・プレス

組み立てた骨組みにベニヤ等の面材を貼り付け、プレス機でプレスして板材を作ります。

⑥



カット仕上げ②

建具など長尺の板材については、高精度で加工可能な大型のパネルソーも使用して加工します。

⑦



NCドア加工機

ドアなどの大型の建具に対して、ラッチや金物の取り付けのためのネジ穴など高精度での穴開け加工を行います。

⑧



組み立て

加工済の板材や面材とその他金物等のパーツを合わせて組み立て、完成です。綺麗に組み上げるためには、高い精度の加工が欠かせません。

6. 当社の強み ～知的資産～

関係資産

- ・一流商社、ゼネコンとの更なるお付き合いにより、新たなお客様をご紹介頂け、一流の現場への更なる仕事依頼へと繋がる
- ・仕入先とのつながり、人間関係、仕入れ・納品速度の速さ

人的資産

- ・会長が持つ、地元大川の資材屋、外注先との強固な関係性
- ・後継者の人柄（親しみやすさ、チャレンジ・改革精神）
- ・完全オーダーメイドに対応可能な設計力を持つ従業員
- ・素材の目利き力、製造ノウハウ
- ・無理が通る、資材屋、外注先との強い絆
- ・工場長の「展開図」「図面」を作成できる能力。（技術継承が難しい能力）

組織資産

- ・協力会社にて工程を分業する事で、様々なニーズに対応可能な組織力、材料調達力
- ・プロジェクト達成のためには工夫や努力を厭わない企業文化、組織力
- ・短納期、納期調整に対し、臨機応変な対応を行う企業文化
- ・変化する社会に対応する能力

情報資産

- ・創業から現在までの、営業先・販売先情報を完備
- ・過去の実績、経験からお客様へ、最適な素材や工程に関する提案力
- ・外注先、資材屋の対応能力の把握
- ・家具組合などからの情報ネットワーク

7.沿革

年	沿革
2001年	会長は、広島県の会社（大川営業所）で営業として勤務し、大川市で大きな仕事を地元企業に依頼していたが、会社が民事再生手続きに入ったため、地元企業を守るために一念発起。個人事業主として開業。
2002年	法人化（有限会社佳工業誕生）年間売上2億円
2008年～ 2009年	2008年にアメリカで起こったリーマンショックの影響が日本にも広がり、多くのゼネコンが倒産し、現場はストップ。自社の関係先の現場は、運良く悪影響を被らずに済んだ。年間売上7,000万円。事業を継続させるため、社長夫妻は事業主借を行う。その後、売上が徐々に回復。
2011年	社長（後継者）が入社した事で、現場施工がスムーズに進むようになった。
2012年	ベテランの工場長が入社した事で、内製化が可能となった。
2023年	事業承継。工場長が顧問となり、工場スタッフの育成が課題。現在に至る。

7.沿革 ～創業前期（2001年）～

会長は、広島県の会社（大川営業所）で、営業職として勤務。大川市で4,000～5,000万円規模の仕事を地元企業に依頼していたが、会社が民事再生手続きに入ったため、地元企業を守るために一念発起。

得意先ゼネコンの現場監督たちの後押しもあり、個人事業主として開業。

翌年の2002年に法人化。有限会社佳工業が誕生する。

創業当初は、ものづくりは外注し、施工メイン。年間売上は2億円。



知的資産

営業時代の得意先ゼネコン現場監督達との繋がり、信頼関係（会長の人的資産）

業界動向

中小企業の景況感は鈍化。業種別では、小売業が大・中型店の進出を背景にした競争激化。卸売業、建設業、サービス業も軒並みマイナス幅を拡大させ、経営破綻する会社もあった。

7.沿革 ～基盤形成期（2008年）～

2008年にアメリカで起こったリーマンショックの影響が、日本にも広がり、多くのゼネコンが倒産し、現場はストップ。しかし、佳工業の関係先の現場は、運よく悪影響を被らずに済んだ。年間売上7,000万円。事業を継続させるため、社長夫妻は自己資金を投じ、会社経営を存続させた。その後、売上が徐々に回復。2011年に、後継者である現社長が入社。



知的資産

売上は、前年度に比べ大幅に減ったが、リーマン後は徐々に回復できるだけの受注力（会長の人的資産）。製造は外注中心（関係資産）。

業界動向

リーマンショックの影響を受け、金融市場は混乱。株価暴落。銀行間取引が停滞。大量のリストラ発生。多くのゼネコンが倒産し工事現場はストップする状況。

7.沿革 ～転換期1（2012年）～

2012年に、他社を定年退職したベテランのスタッフが、工場長として入社。当時、部材、建具などのものづくりを外注していた佳工業は、外注先管理の煩雑さと、品質のばらつき解消に悩まされていた。ベテラン工場長は、ものづくりの要である図面作成が出来たため、会長は工場での内製化を決意。工場長の要望もあり、徐々にスタッフを増やしていった。



知的資産

工場長の「展開図」「図面」を作成できる能力
（技術継承が難しい工場長の人的資産）
社長が現場施工を担い、役割分担ができれば
始める（組織資産）

業界動向

2011年の東北震災普及需要により、建設投資が増加。

7.沿革 ～転換期2（2023年）～

2023年5月に、現社長への事業承継。
高齢となった工場長が顧問となり、工場スタッフの技術継承を含めた育成が課題となっている。
工事現場の省力化と既製品対応により、簡単な部材は受注できなくなっている。施設等は完全オーダーメイドであるため、施工できるスタッフを、増強、育成する必要に迫られている。

現在に至る。



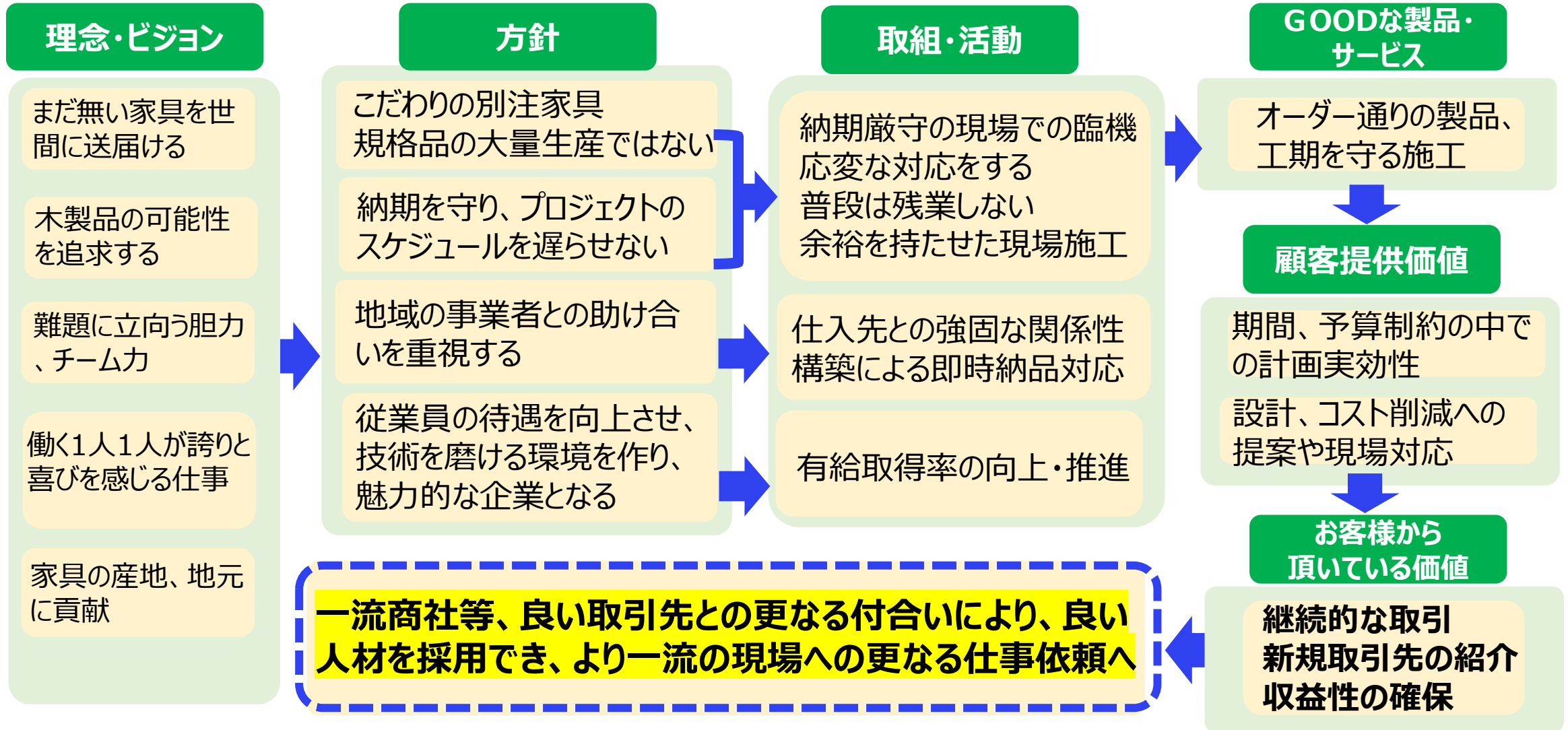
知的資産

社長が1級施工管理の資格を取得。
フォークリフト免許取得者4名。
社長にかわり現場施工をできる社員。

業界動向

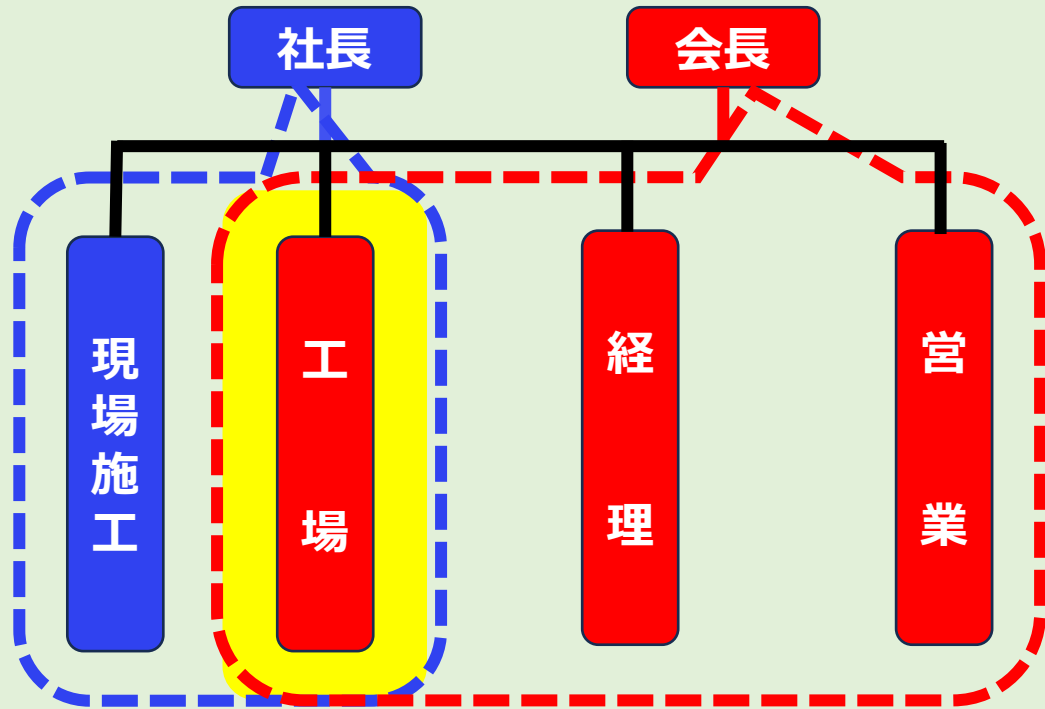
コロナが5類に移行し、経済が再び活性化し始める。建設需要は増加しているが、建設業就業者の減少と高齢化、戦争や円安による資材価格の高騰によるコスト増。

8. 現在価値ストーリー

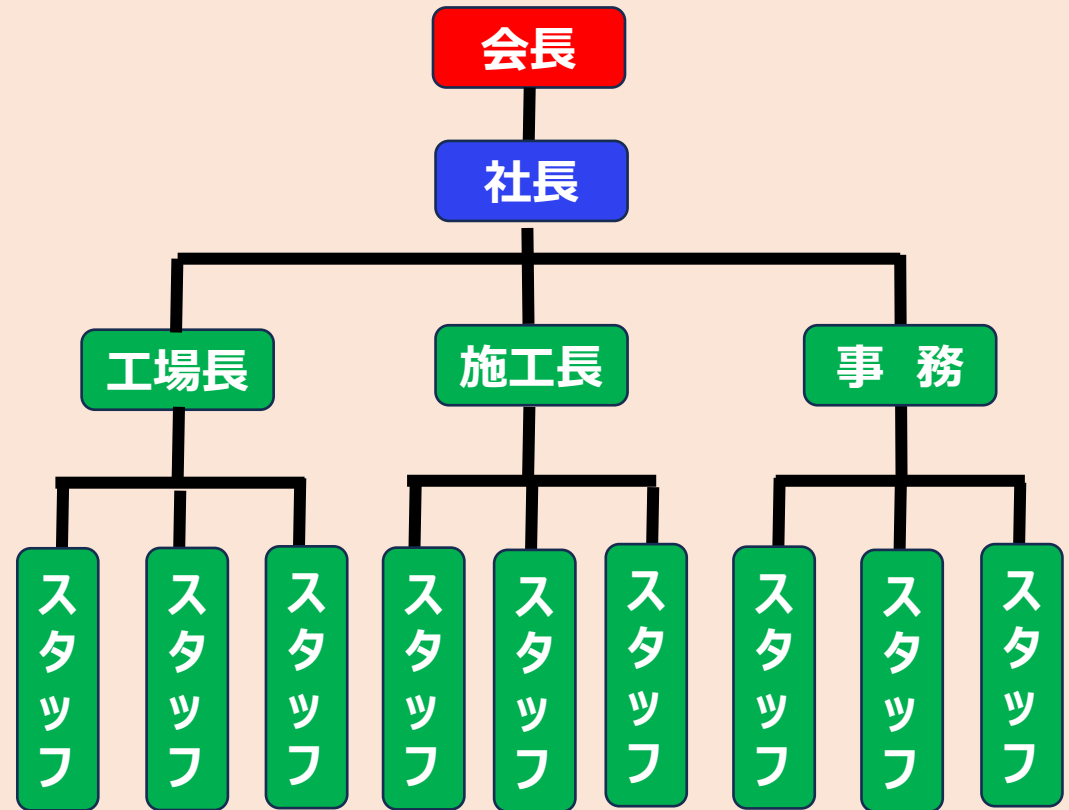


8. 現在価値ストーリー ～体制変革～

これまで



これから



9. これからの取組み ～目指す方針と取組み～

方針

- ・お客様のニーズに臨機応変に対応するため、人材育成に注力（人材から人財へ）
- ・全体最適（工場と施工現場のスムーズな連携）のため、進捗状況の見える化
- ・スキルやノウハウを、人的資産から組織資産へ昇華

これまで

- ・人材育成に注力していなかったため、技術が属人化しており、技術承継が滞り、従業員ごとの技術に差が生じ、手待ちが発生していた
- ・採用がうまく行かず、従業員の高齢化が進んでいた
- ・工場、現場ごとの役割の違いがあり、全員集まるのが難しくなってきた

解決策

見える化

- ・全体スケジュールの掲示
- ・案件ごとの工程管理表の作成

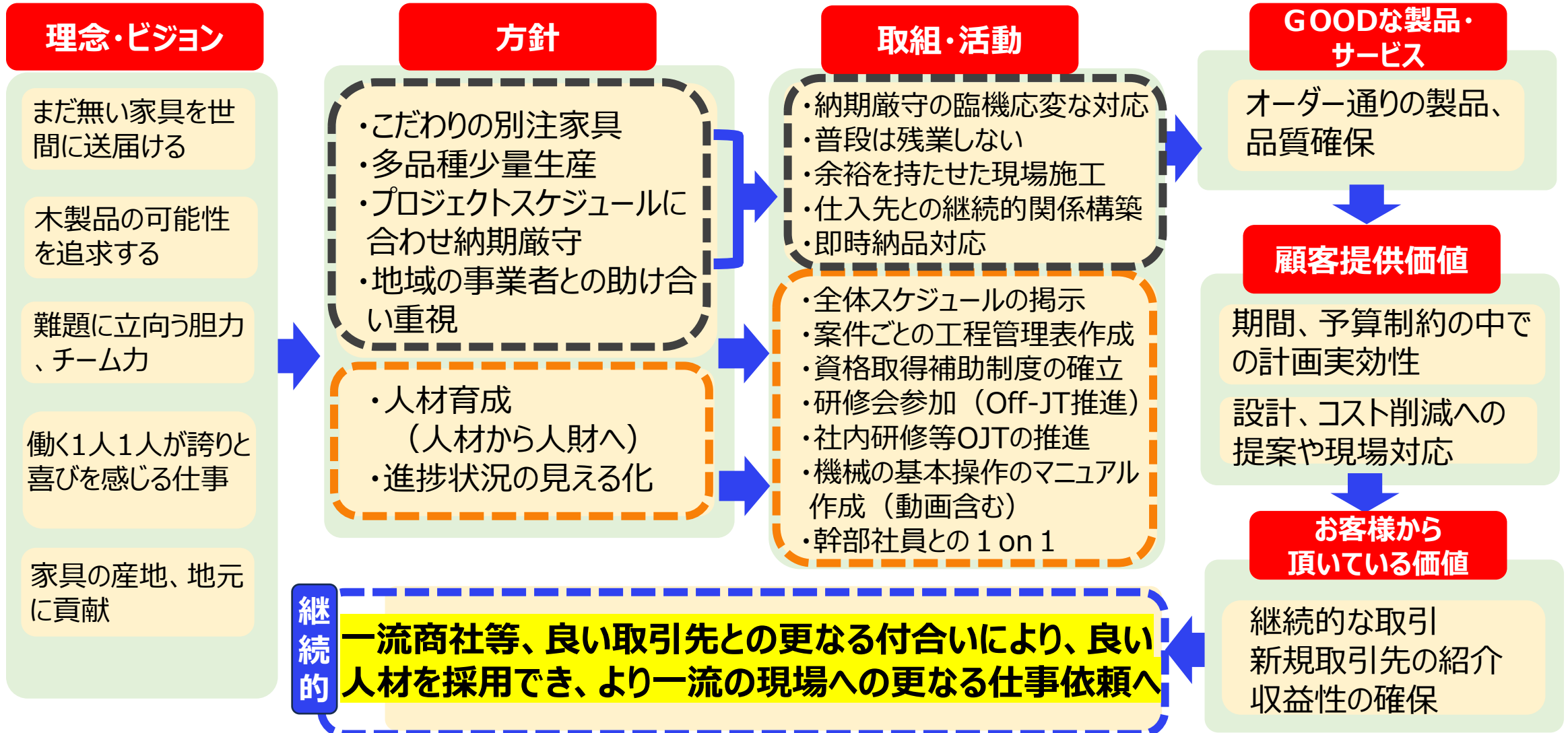
スキルUP

- ・資格取得補助制度の確立
- ・研修会参加（Off-JTの推進）
- ・社内研修等、OJTの推進

情報共有

- ・機械の基本的な操作のマニュアルの作成（動画含む）
- ・幹部社員への1 on 1

10. 将来価値ストーリー



1 1.組織と人

社員構成：取締役（3名）、正社員（9名）、パート（1名）

組織体制：社長、現場施工（3名）、工場（6名）、事務所（3名）



有限会社 佳工業

